

えつつ、その見直しについて検討すべきである。

Ⅲ 新たな制度的枠組みの下での政策展開

1 6つの基本的視点（施策横断的な視点）

（1）市場重視の政策展開と消費者政策の確立

多様化・高度化する居住ニーズに対応するためには市場による対応が最も効果的であり、住宅市場の成熟状況を踏まえつつ、市場機能が最大限に発揮されるような環境整備を推進。併せて、消費者利益の保護を推進。

（2）ストック重視の政策展開

住宅を世代や家族を超えて社会全体の資産として活用していけるよう、既存住宅ストックを有効活用するとともに、良質な住宅ストックが形成され、それが適切に維持管理され、円滑に流通する循環型市場の形成を推進。

（3）福祉、まちづくり等との連携強化

多様化・高度化する居住ニーズに効果的に対応するため、福祉・まちづくりなどの行政分野との連携を強化。

（4）地域の実情を踏まえたきめ細かな政策展開

地域の実情を最もよく把握する地方公共団体の主体性と総合性を尊重し、地域住民・NPO・専門家等との連携によるきめ細かな施策展開が可能となるような取組みを推進。

（5）住宅関連産業の健全な発展

様々な分野の住宅市場が十分に機能を発揮し、質・価格両面で魅力ある住宅や住宅関連サービスが提供されるよう、住宅関連産業の健全な発展を推進。